区のおしらせ

No.407

昭和49年1月5日発行 東京都千代田区役所(九段南一丁目6番11号)電話(264)0151(大代表)郵便番号102

年頭にあたって

千代田区長
高橋銑一

千代田区民のみなさん、明けましておめでとうございます。昭和四十九年の新春をおすこやかに迎えられましたことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

昨年三月、長い区長空白のあとを受け、愛着深い千代田区の区長に選任されまして以来、私は区民福祉の向上を目ざし粉骨してまいりましたが、さいわいにも区議会をはじめ区民各層の深いご理解とご協力を得て、大きな成果を挙げることができましたことを心から感謝申し上げます。

私は、区長就任に当たり、〝いわゆる生活力の弱い人々、社会的に生きることにハンディキャップを負った人々の生活の防衛を期して、福祉対策の充実に努める〟ということを区民のみなさまにお約束いたしました。こうした視点から、ひとり暮しや寝たきりのおとしよりのために、声の訪問電話や、火災報知器、浴槽のとりつけ、身体の不自由な方々に対しては、福祉手当の支給、歩道の段差解消等々の施策を推進してまいりました。待望久しかった心身障害者施設富士見福祉会館も竣工し、区の福祉行政はますます充実の度合を深めております。また、児童・幼児の福祉対策として、神田・西神田に次いで第三の児童館が富士見地区に完成したほか、児童公園も三か所を新設・整備いたしました。

そのほか、区民の健康をまもる立場から、千代田区・神田両医師会のご協力のもとに、休日診療を東京都にさきがけて実施する一方、区民の保健衛生上欠くことのできない公衆浴場の減少防止の一策として、浴場組合の協力を得て、事業委託を行なうことになりました。

また、教育施設面でも、錦華小学校、箱根高原学校が相次いで竣工いたしましたが、そのほか、麹町小学校の増改築、中学校プールの温水化の調査に着手するなど、より充実した教育環境を目ざして施設整備に意を用いてまいりました。

本年は、その新春を異常なまでの物価騰貴、石油輸入削減によるエネルギー不足などの世情不安のうちに迎えました。当千代田区においても、そうした経済的重圧を免れないうえ、地下鉄・新幹線建設に伴う公害問題、大ビル建築による日照権問題、災害に備えて避難路・避難場所の確保等、区民の生活環境を守るために解決すべき重大かつ困難な問題が山積しております。

こうした情勢にあたって私は、社会的に弱者の立場にある人々、社会経済事情の混乱の中で困難に直面している人々の生活を守り、福祉の向上をはかることが自治体最大の責務であることを再確認し、そのための施策を強力に推進するとともに、悪化の一途をたどる生活環境の防衛・改善に際しては、昨年十二月発足させました区役所環境部を中心に取り組んでまいりたいと存じます。

なお、公共施設の整備計画につきましては、神田神保町に老人福祉センターの建設をすすめるのをはじめとして、懸案諸施設についても、引続き実現を期して努力する所存です。

前途には幾多の困難も予想されますが、多数区民のご意志の吸収につとめ、また、みなさんのご協力を得て諸障害をのりこえてまいりたいと存じています。

年頭に当り、みなさんのご健康とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

昭和四十九年元旦

昭和48年　区政のあゆみ

《富士見児童館完成》

富士見児童館が完成し、先にできた神田・西神田を加え、これで児童館は3館となりました。各児童館では、毎月、趣向をこらしたこども会などを催し、地域のチビッコたちの人気を呼んでいます。

チビッコひろばは、富士見児童公園はじめ3ヵ所が新設・整備されました。町会等が運営している路上チビッコ天国も、区からの助成額が増額され、今では30か所で行なわれています。

富士見児童館

飯田橋児童遊園

《心身障害者の施設が完成》

千代田区ではじめての心身障害者の施設"富士見福祉会館"が完成しました。

写真の1、2階がこの施設で、気泡によるマッサージのできる療浴室をはじめ、機能回復訓練室、集会室、児童遊戯室などを備えています。

富士見福祉会館の機能回復訓練室

No.407　49.1.5

昭和48年　区政のあゆみ

物価の異常な高騰、石油事情の悪化など、市民生活は、厳しい状況に追いこまれようとしています。

このような事態にあって、行政の最先端を担う区政は、区民のあらゆる階層に対して、これまで以上に行き届いたサービスが要求されて来ます。

以下、昨年行なった千代田区の事業の主なものをご紹介しますが、これらのものは、今後も一層の充実が望まれています。

神田神保町に建設される老人福祉センター

ひとり暮し老人世帯に火災報知器設置

《おとしより対象の新施策がスタート》

老人福祉センター建設はじまる

おとしよりの福祉向上は、区民のかたがたからの強い要望のひとつです。48年中に、声の訪問をするために電話機を無料で架設したり火災報知器を取付けたり、家政婦の派遣、浴槽の無料設置など、ひとり暮しや寝たきり老人を対象としたかずかずの施策がスタートしました。また、おとしよりの憩いの場「老人福祉センター」も、いよいよ神田神保町に建設工事がはじまります。

昭和48年　区政のあゆみ

《区民の声を聞く》

区政に対する区民の要望や意見を聞く区政懇談会は、48年からは、翌年度の区の予算編成に間に合わせるため、5月から6月にかけて行なわれました。7か所の会場はどこも満員で、区民の関心の深さを示していました。

歩道上に
グリーンベルト設置

《環境の整備》

47年度から3か年計画で行なわれている、街路緑化計画は、神田警察署前通りほか7か所、延べ2,750メートルにわたって権木をあしらったグリーン・ベルトが設けられたほか、街路樹も500本近く植えられました。

道路を歩きやすくするため、歩道の段差解消工事も進んでいます。

また、48年1月から隼町が新住居表示となり、更に、ことしの1月からは、旧神田鍛冶町1・2丁目が、鍛冶町一丁目・同二丁目に改められ、これで実施率は70%になりました。

一方、公害対策面では、高所監視や水質調査、指導業務など、区としてできるだけの活動を行なっています。

12月には、新たに、区役所に環境部が置かれ、公害、防災の面を含めた環境対策の充実をはかりました。

神田川の水質調査

住居表示
を実施

昭和48年　区政のあゆみ

《大震災時にそなえて》

大地震のときに火災を出さないようにするには、なんといっても初期消火が大事です。このため、区では区内全域に消火器の網の目を張りめぐらそうと、およそ1,050か所に消火器をとりつけました。このほか、以前に配付した非常用避難袋の補充なども予定されています。

《お風呂屋さんに区から事業委託費》
《休日診療も医師会の協力で6月から開始》

区内の公衆浴場が年々減少し、区民の利用者から憂慮されていますが、区ではこれ以上お風呂屋さんが減らないようにと、15軒の公衆浴場に対し、48年4月から事業委託費を交付することになりました。

区民から長い間期待されていた、休日診療は、千代田区・神田両医師会の協力で、6月から実施されました。

昭和48年　区政のあゆみ

《古い校舎や校外施設を建て替え》

老朽校舎の建てなおしの第2番目として、番町小学校に次いで、錦華小学校の建替え工事が9月に完成しました。区では、こうして古くなった校舎の改修を今後も計画していくことにしています。

また、箱根仙石原にある高原学校も、9月から様相を一新し、移動教室でここを訪れる小学生たちを喜ばせています。

箱根高原学校

錦華小学校新校舎

10月古本まつり

《区内商工業の振興に》

商工融資を増額
従業員対象にサイクリング会

区内の中小企業のかたがたの営業の手助けに、区があっせんしている商工融資の貸付限度額を、48年4月から50万円引上げ、営業資金180万円、設備資金が300万円となりました。中小企業に勤める従業員のレクリエーションとして、サイクリングの会も、新しい事業にとり入れられました。

従業員のレクリエーション